

発達障害のある子どもを支える先生へ。 大阪教育大学の体験・対話型「バーチャルスクール教材」 開発プロジェクト



教室で、こんな場面はありませんか？

- ☑ 授業中に突然席を立つ
- ☑ 音や刺激に強く反応する
- ☑ 集団活動に参加しづらい
- ☑ 指示が伝わりにくい



こうした行動の背景には、
発達障害の特性が関係している場合もあれば、
環境や心理的な要因が関係している場合もあります。
しかし、教員を目指す学生や若手教員が、
実際の教室場面に近い形で学ぶ機会が
十分とは言えません。



特別支援教育を受ける児童生徒数
平成16年：17.9万人 → 令和6年：68.0万人
約3.8倍 (50.1万人増)

特別支援教育を受ける児童生徒数はこの20年で約3.8倍
教師は「失敗しながら学ぶ」ことが難しい・・・

大阪教育大学の挑戦は
「経験」と「時間」の壁を超える
体験・対話型教材の開発です。

パイロットにはフライトシミュレータがあります。
しかし教師は、実際の子どもたちと向き合いながら
経験を積むしかありません・・・。

子どもを傷つけることなく、
何度でも試行錯誤できる環境があれば...
もっと多くの教師が、
自信を持って子どもたちを支えられるはずです。

あなたのご寄付で、
教師が安全に学べる
実践型教材を
完成させます！！

クラウドファンディング
挑戦中！

教員養成フラッグシップ大学 大阪教育大学

特別支援 バーチャルスクール教材

発達障がいのある子どもへの理解と対応を学ぶ
体験・対話型教材を開発します

開始日	実施期間	終了日
7/21	50日間	9/8

プロジェクトの詳細・
ご支援はこちら

READYFOR
サイトで公開中

※本画像は生成AIで作成したイメージです

あなたの寄付で実現すること



READYFOR
サイトで公開中

STEP1

行動の背景を体験的に学ぶ

- ・授業中の立ち歩き
- ・感覚過敏
- ・学習上の困難 など

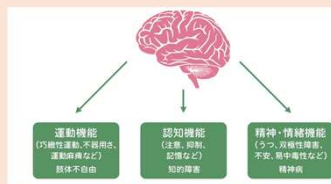
事例を教師視点で体験



STEP2

理論的に理解する

医学・心理学・特別支援教育の知見から
行動の背景を学ぶ



AIとの対話学習



ご支援が生み出す循環

教師が学ぶ
↓
教師が自信を持つ
↓
子どもへの適切な支援が増える
↓
安心して学べる教室が増える

この教材は「作って終わり」ではありません

大阪教育大学では

毎年約700名の未来の教師が学びます

本教材は授業の中で継続的に活用され、毎年改善され続けます。

応援メッセージ

大阪教育大学長 岡本 幾子

本教材は、教師や学生が失敗を
恐れずに学べる新しい学習環境
を提供する挑戦です。

子どもたちが安心して学べる教
室づくりのため、皆様のご支援
をお願いいたします。



プロジェクト責任者

大内田 裕 教授
大阪教育大学特別支援教育部門

支援を必要とする児童生徒が増加する
中、教師が実践的に学ぶ機会の充実が
求められています。

本教材は、体験学習と生成AIとの対話
を通して、教師の実践力向上を支える
新しい学習環境です。



目標金額：300万円

募集期間：2026年7月21日 ～9月8日